

# 令和6年度 指定管理者 評価報告書

No.	11	評価区分	I 文化交流施設、スポーツ施設、環境衛生施設、福祉施設
施設名	飛驒市古川町デイサービスセンター、飛驒市河合町デイサービスセンター、飛驒市宮川町デイサービスセンター、飛驒市河合町保健センター、飛驒市宮川町保健センター	所管課	地域包括ケア課
指定管理者	社会福祉法人 吉城福祉会	地域名	古川町、河合町、宮川町

## 1 施設の概要

施設所在地	飛驒市古川町若宮二丁目1番60号、河合町角川318番地、宮川町野首28番地3		
設置目的	在宅の虚弱老人及び寝たきり老人など要支援老人に対し、各種の便宜を提供することにより老人及びその家族の福祉の向上を図る。 市民の健康保持及び福祉の増進を図り、あわせて市民の自主的健康管理の拠点施設とする。		
施設の概要	古川:デイサービスセンターのみ、河合:全館、宮川:全館		

## 2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成25年11月	募集の方法	非公募
評価年度の属する指定期間	令和4年度	～	令和6年度 (3年間)
利用料金制	有り		

## 3 職員の配置

配置人員	常勤	25人
	非常勤	11人

## 4 施設利用者の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数 (人)	12,133	11,323	8,415	6,617
前年度増減比 (%)		-6.7%	-25.7%	-21.4%

## 5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
11,787人	古川デイサービスの民間サービス移行準備及び河合・宮川デイサービス統合に向けた定員の変更により利用者が減少

## 6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段	利用者及び家族対象アンケート調査	件数	53 件
その他の方式	手段		件数	件
利用者等からの意見と対応	要望・意見・苦情		対応	
指定管理者に対する意見	①	濡れたタイヤの車椅子で自宅に入られた	ご家族に謝罪、必ず入る前にタイヤをタオルで拭くよう徹底	
	②			
	③			
市に対する意見	①	特になし		
	②			
	③			

## 7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
・防災訓練等振興事務所と連携をとり開催 ・地元保育園との交流	地域との交流により、地域と共に進めるデイサービスとなつた。

## 8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
生活環境保全及び公衆衛生の向上	環境衛生検査や食品検査を行い、検査機関より指導を受け公衆衛生に対する意識の向上を図っている。

## 9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
特になし	

## 10 人材育成の状況

実施内容		対象・回数など	
・虐待防止、身体拘束防止研修 ・認知症研修		全職員 年1回	

## 11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

年次	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な内容
収入	120,277	114,230	95,595	90,538	
指定管理料	962	907	907	907	
利用料金	118,208	111,752	82,777	65,893	
純売上高					
その他	1,107	1,571	11,911	23,738	
支出	126,001	131,615	110,897	119,126	
売上原価					
人件費	91,997	91,951	81,730	70,581	
光熱水道費	11,424	12,162	10,886	10,011	
設備保全費	2,101	1,953	2,173	2,342	
修繕費	216	245	621	33	
備品消耗品	2,116	8,081	2,089	1,744	
清掃費	63	74	87	72	
その他管理費	6,363	5,269	809	2,993	
運営費事務費	7,205	7,168	9,461	9,139	
その他	4,516	4,712	3,041	22,211	
指定管理業務収支	△ 5,724	△ 17,385	△ 15,302	△ 28,588	
自主事業収支	△ 1,164	△ 3,747			
全体収支	△ 6,888	△ 21,132	△ 15,302	△ 28,588	
備考					

※指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

## 12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
特色を明確にし選ばれるデイサービスとなるよう対応し、安心安全に過ごせる場所となるよう努めた	デイサービス利用者及び家族に丁寧な説明、安全に過ごすことができる場所の提供を第一とすることで利用者数の確保に繋げることができた。

## 13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
消耗品の年間単価契約 職員への光熱水費節約の呼びかけ	年間単価契約による費用の抑制 利用者が不便にならない程度の節約

## 14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価	前年	評価に対する内容
平等利用の確保(20)	b (15)	b	河合町保健センター及び宮川町保健センターについては、特定の団体等からの利用に留まってはいるが利用希望に基づき使用されている。デイサービスの利用については、利用希望者全員が平等に利用できるよう調整されている。古川デイサービスの民間サービス移行に伴う定員数減少や河合・宮川の統合に伴う送迎曜日変更等に関しても、利用者及び家族へ丁寧に説明対応をしながら平等利用できるよう調整されている。
施設の効用の発揮(20)	c (10)	c	事業計画作成当時から5年間で状況が大きく変わり、計画人数に対する達成率は56%である。古川デイの民間サービスへの移行に向け、実利用者数に近い定員運用となるよう抑制を図ったことが大きな要因と見られる。しかし、達成率を上げるために稼働率向上の工夫が欲しいところである。河合・宮川デイサービスセンターは地域密着型の通所介護施設として活用され、人口減少が著しい地域の利用者にとって、住み慣れた地域でのサービスを受けることができる拠点である。
安定した管理能力(20)	c (10)	c	いずれの施設も、20年以上が経過し老朽化が進んでいる。修繕が必要になる部分が多くある中で緊急度を勘案しながら修繕を行い、適正な保守点検等を行なながら状態を把握し管理を行っている。デイサービスの民間サービス移行や統合を控えて、備品の活用や整理といった工夫が見受けられた。古川デイは定員を18人に縮減したが、定員数に見合った職員配置となるよう対応していただきたい。
経費の縮減(20)	b (15)	b	利用頻度の多い消耗品については、法人本部による年間単価契約を行うことにより、経費の縮減に貢献をしている。また、光熱水費については、利用者に不便がかかるない範囲で節約に努めている。適正な職員配置について、民間サービス移行や統合に向けて研究、分析を進め次年度に向けた体制を構築したことにより人件費約11,100千円の削減となった。
自主事業等及び各課で定める項目等(20)	b (15)	b	いずれのデイサービスも小規模で、定員の削減に伴い個別での対応がしやすく利用者の希望に沿ったメニューの実施ができている。宮川では、利用者のやりがいや生きがいに繋がる手作業に力をいれ、出来上がった物を地域の皆さんに利用していただく取組が実施された。災害対策についても振興事務所と協力連携をとり訓練の実施を行っている。
総合評価	C+ (65)	C+	指定管理料は保健センターに係る管理経費のみであり、古川デイの民間サービス移行準備での定員数の変更(減少)や短期施設入所によるデイサービス利用キャンセル、感染症による利用者減少等により減収となり赤字の決算となつた。今後、地域密着型通所介護施設である強みを活かして地域の声を拾い親しまれる施設を目指しつつ、施設統合後の稼働率を高め、持続可能な運営がなされることに期待する。